

ひびばい 市議会だより

令和元年5月1日

47号

発行 美 唄 市 議 会
編集 市議会広報委員会

第1回定例会最終日

平成31年第1回定例会は、3月4日に開会し3月26日に閉会し、市長から、承認案件1件、条例制定案件1件、条例改正案件5件、単行案件2件、補正予算案件5件、予算案件10件の計24件の議案が上程されました。本会議では市長から平成31年度市政執行方針、教育長から平成31年度教育行政執行方針が示されました。8日と11日には一般質問が行われ、8名が市長・教育長に質問を行いました。12日は常任委員会、予算等審査特別委員会では、13日に補正予算と条例改正について審議し、14日から20日までは、平成31年度当初予算に関して一般会計15億1170万3千円、特別会計6件、86億2739万4千円、企業会計3件、30億1752万1千円を審議しました。補正予算案件については

第1回定例会（3月4日～3月26日）終わる
☆ 平成31年度一般会計予算
155億1170万3千円可決

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

除排雪事業を承認案件として、また畑作生産振興事業に係る繰越明許費補正についてそれぞれ本会議場にて審議し、施設利用支援事業、担い手確保・経営強化支援事業、農業競争力基盤強化特別対策事業、美唄市プレミアム付商品券事業、美唄国設スキー場整備事業、介護保険会計支出金等は委員会にて審議を行いました。22日には地域医療体制等調査特別委員会を行いました。

26日本会議では全ての議案が可決され平成31年度第1回定例会は閉会しました。

一般質問

今定例会では、
8人の議員が一般
質問を行いました。
質問・答弁は本人
が要約したものを
掲載しています。

みずほ議員会

合村 知重 議員



◎観光・交流施設について

問 ゆくりん館及びパークゴルフ場について

答 利用者は減少傾向にあり、新館アネックスは多様な宿泊ニーズに対応できることから、サイクルツーリズムの拠点としての活用や冬場のパークゴルフ場での雪遊びやファットバイク・スノーシューの利用など、雪国ならではの楽しさを提案し利用者増に取り組む。

問 国設スキー場について

答 利用者は減少傾向にあるが、近隣スキー場の休業や存廃を検討していることなどから、今後これらの影響により他市町村からの利用者や中学校のスキー授業などの活用が予想され、受け入れ等については指定管理者等と協議しながら積極的に行っていく。

また、ご不便をかけている食事の提供については、利用状況を見極めながら、提供場所を含めた食事提供のあり方について指定管理者と協議検討する。

◎教育行政について

問 学校適正配置について

答 本市においては、来年度より3ヶ年において小中学校の統合を進めているところであり、近く完全複式学級になることが想定される南美根小学校については、保護者及び地域の意見などを踏まえた中で適正配置に努めたい。

また、中央小学校、東小学校、美根中学校、東中学校の4校については、当面は一定程度の学校規模が維持されるものと判断しており、これら学校を短期のスパンで再配置することは難しいものと考えている。

《その他の質問事項》

○児童生徒の体力向上について
○学校での携帯電話・スマートフォン扱いについて

公正クラブ

山崎 一広 議員



問 市制執行方針について

①基本方針と主要施策、抽象的で具体的にどの様に取り組むのか
②第一楽章から第五、最終章とどの様にまとめるのか

答 ①実践的な人材の育成に取組み、各分野では未来を見据えた健康・産業・安心・安全戦略で活力あるまちづくりに取組む。

②観光の街づくりに努め、市内事業者や関係団体と連携し、地域の活性化に取り組み、各事業を有効かつ効果的に展開し、経済振興や安全、安心な暮らしに立脚した市民生活の向上に取り組む。

問 次期総合計画について

①計画の持つ意義について
②既存財源が脆弱では出来ない計画だが

③計画の進捗管理について

答 ①10年後のまちの姿を数値目標で設定、最上位計画に位置付けているのである。

②事務事業インデックス策定、予算の基礎や事務事業の実施・評価の基準に活用してまいりたい。

③審議会で見解交換や確認作業を、効果的な事業に取組む。

問 決算見込みについて

①健全化判断比率と実質収支見込みについて

②病院事業会計、資金不足が発生するののか、中期運営方針と比較して、どの様になるか

答 ①実質公債費率13・9%
将来負担比率132・4%である。

②黒字をみこんでおり、四季不足も発生しない。財政調整基金の使用も検討しなければならぬ。

日本共産党議員団

吉岡 建二郎 議員



問 人口減少克服について、人口流出を食い止める施策について伺う。

答 企業誘致活動を積極的に展開し、市内企業への就職を希望するものを対象に技能講習の受講料7割補助や、若者の地元就職を促進するため、市内高校と連携し、企業見学会や合同企業説明会などを開

催している。移住定住に関しては、定住策として、市の分譲地の購入費に対する7割助成を行っている。また、子育て支援の施策では、不妊治療費の一部助成や病児保育室の運営、医療費の無償化を小学生までの拡充、保育環境の充実を図るため、認定子ども園に冷房設備の設置や進徳保育園の園舎床等の改修を行い環境の充実を図る。

問 災害見舞金条例について。近隣自治体の状況と、本市での条例制定について。

答 空知管内では本市と夕張市を除く8誌が条例、規則または要綱において、被災住宅および負傷者等に対する災害見舞金の支給について規定している。本市での条例制定については、「美唄市災害弔慰金の支給等に関する条例」があるが、支給要件に該当しない災害は対象外となっている。今般、国内で地震、大雨などによる災害が起きており、本市においても被災者支援は必要と考えていることから、近隣自治体の取り組み状況の調査研究を考えている。

《その他の質問事項》

○昨年の南一の沢川での災害について

○市内の河川への雪捨てについて

○個人情報保護について

○教育行政執行方針について

みずほ議員会

金子 義彦 議員



問 農業振興について

答 これまでも様々な分野で空知農業改良普及センター、並びに、農業協同組合と相互に連携した取組を行っており、農作物栽培や新品種の試験栽培、資材の施用試験など、又、共通課題として取り組む活動では、市、各農協、普及センターの他、農業委員会、農業共済組合なども参加して「美

唄市農業技術員連絡協議会」を構成し、共同作業を進めながら、結果と成果は各農協を通じて、生産者や生産組合へ提供している。今後も緊密に連携しながら取り組んでまいりたい。

問 高齢者福祉について

答 本市の認知症の方の数は、厚労省提供の要介護認定業務分析データでは、平成27年度は認定者、1775名で認知症のある方は959名、割合は54%、平成28年度は認定者が1701名で症状のある方は908名、53・4%、平成29年度は認定者1365名、症状のある方は902名、割合は66・1%で、認知症の方の割合は半数を超え、高い傾向にあります。認知症対策としては、予防や早期発見、又、認知症になつてからも、本人が安心して暮らせるための見守りなど、状態にあった支援を行っています。具体的な取り組みは、貯金体操や物忘れプログラムの実施や、初期集中支援チームの取り組み等があります。

《その他の質問事項》
○地域医療について

公正クラブ

川上 美樹 議員



問 地域の活性化と生活の利便性向上、経営コストの効率化を図りながら少ない人口でも市民生活の満足度を高める「コンパクトシティ構想」から、国が進める「立地適正化計画」に移行し、これまで都市計画に位置づけられなかった、医療、福祉、介護、文化等の公共機能の集約化を明確にし、持続可能な都市にするよう策定が進められているが、その現況はどうか。

答 市内各地域に人口が拡散している。市街地の中心部に公共施設の集約化を図る。計画策定の後半には現市役所敷地に、市役所、市民会館、図

書館を集約、複合化した施設にしてい。また市街地は道路の段差解消や休憩施設の設置、ポケットパーク化にも取り組む。

問 小学校にタブレット端末の整備を行う事となるが、多額の予算をかけて整備するのだから、その成果を出すべきと考える。学力向上だけでなく、本市の教育環境が良いから引越したいと思つて貰える位にならないといけない。

答 算数、理科だけでなく、体育も動画を使つて分かり易い授業を行う事ができる。タブレット端末は教師にとつては、児童に理解し易い教材を作ることができ、児童側にとつては興味を引く授業となり、その成果は今後期待できるものと考えている。

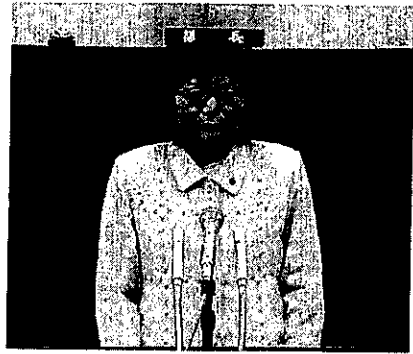
問 来年までに小学校5、6年の英語の授業が35時間から70時間と倍増するが英語指導の教師は不足しないのか。

答 現在、英語指導教師は2名で指導しているが、来年までには1名増やす体制を目指す。

《その他の質問事項》
○小中一貫教育について

日本共産党議員団

吉岡 文字 議員



問 市政執行方針で子育て支援で子どもの医療費無償化についてとりあげているが、どう変わるのか。窓口負担についてはどうか。

答 本市では平成26年4月から北海道の医療費助成制度を拡充する形で、所得制限を設けず全ての未就学児の医療費に係る自己負担の全額助成を行なっている。このたび更なる子育て世代の支援策として小学6年生までの医療費の自己負担を全額助成することになった。平成31年度予算は扶助費7ヶ月分で911万8千円、平成32年度は12ヶ月分で約1800万円。道内の医療

機関に受診した場合は、窓口負担は無い。道内市町村の助成では小学生までが約2割、中学生までが約4割、高校生までが約4割。空知管内では道基準のみの助成が1市、未就学児までが2市、中学生までが4市、18歳の年度末までが2市。

問 学校給食費について現状と今後の考え方について

答 1食当りの単価は小学校260円、中学校308円。平成21年6月の改訂以来10年間据え置いている。献立を工夫しながら安全かつ、よりやすい食材を選んだりしながら、食材費の抑制に努めてきたが、運営が厳しい状況となった。

平成31年4月から給食費の引き上げが必要との判断に至り、保護者説明を経て小学校279円、中学校332円に改定。

《その他の質問事項》

○行財政改革について

○子どもの貧困について

○合葬墓について

○教育行政について

公正クラブ

松山 教宗 議員



問 高齢者福祉の認知症予防施策「見守り声かけ訓練」を先進的に取組み地域に入り進めているが訓練の目指すものは。

答 訓練は認知症の理解と行方不明になった方を発見し保護に努めるもの。捜索するだけではなく、日常歩いている家に戻れなくなる方を見守ったり、街などで不安そうな方には声をかけるなど安心してもらえるように。そして認知症の方が歩かないようにするのではなく、自分らしい生活が送れるようにするもの。

問 本市は先進的に受動喫煙防止条例を制定し取組んでいる。健康増進法の改正施行に

あたり本市の独自性をいかすなど条例改正をしては。

答 公共の場で屋内禁煙を罰則付きで義務付けた健康増進法の改正が行われ2020年4月施行される。本市受動喫煙防止条例についても見直しが必要と考える。健康増進法とは違う妊産婦や子供、その家庭に対して一層取組が促進されるような独自の特色を出していきたい。平成31年度中の改正を目前に、関係市民団体で組織された委員会等で協議して行きたい。

問 市立病院の医師は充足しているが安定的な常勤医確保は必要。今後、訪問看護や地域医療のために、専門的な認定看護師など配置が必要では。

答 医師確保に向け最大限努力すると共に平成31年度には看護師1名が認知症に関する認定看護師資格取得のため半年間専門教育を受講する。

問 他の認定看護師の資格取得など積極的に考えては。

答 臨床現場のエキスパートとして役割は大きい。他に感染や訪問看護の分野など今後専門教育の受講について検討する。

公正クラブ

土井 敏興 議員



問 民間住宅の除却費支援内容。

答 旧耐震基準で建築され、かつ診断で倒壊の危険性がある木造住宅を除却予定の所有者に対し、費用の一部を助成する新たな制度で、除却対象経費の二割以内で上限額を二十万円とし、十五件程度で助成予定額は三百万円程度の予定。

問 上下水道事業経営に向けてた市民委員会設置の内容は。

答 人口減少に伴う水需要が漸減し、上下水道使用料収益の減少が予想されるほか、施設の老朽化に伴う更新費用の増加が見込まれ、将来に向け

(5)

市 議 会 だ よ り

安定した経営を目指し、八月を目処に学識経験者・市内団体等の代表者・市民公募による八名程度で構成する市民委員会を設置し、上下水道の今後等について検討していく。

問 自転車等の安全利用対策

答 今後、北海道自転車条例に基づき、地域安全パレードや地域安全大会など様々な機会を通じ、自転車利用者の安全確保を図るための普及啓発活動をはじめ、美唄に相応しい条例制定に向け検討していく。

問 学校給食の取組みについて

答 給食の食材の調達については、食育の観点からも地元美唄産を最優先し取り組んでおり、今後についても、野菜等については市場での流通量や生産者のストック量、形状等により廃棄される食材の活用にも留意し、コストの削減を図れるよう調査研究したい。

問 クライミング設備について

答 クライミング利用者は年々増加傾向にあり、トレーニング環境としての評価が高まっているが、パネルの劣化やボ

ルトの損傷が進み、更新の声や意見が寄せられ、よって、現在設置しているクライミング壁の整備・拡充により、さらに利用者増を図っていく。

委員会の報告

常任委員会と特別委員会での質疑応答と議論の主な内容

《総務・文教委員会》

17号 美唄市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正の件

問 学校が統廃合されることにより、配置されていた公務補の処遇はどうなるのか。



茶志内小学校運動会

答 公務補については、1年更新の嘱託として、男性1名と、パートの女性1名を配置

しており、統合校に配置されている公務補については、3月31日で雇用を満了する旨、理解をいただいている。

18号 美唄市消防団条例等の一部改正の件

問 機能別団員の任務とはどのようなものか、また、美唄市では大学も短大もない中で、機能別団員の学生10名については目途がたつのか。

答 任務については、大規模火災時における後方支援や、災害時の応急処置などとなっている。また、機能別団員の学生団員については、聖華高校専攻科の18歳を超えた方を対象として考えている。

17・18号 原案可決

《産業・厚生委員会》

19号 美唄市医療費助成条例の一部改正の件

問 助成の対象者数と予算額について。また、他市では高校生まで助成しているところもあるが、高校生まで助成を拡大した場合の試算はしているのか。

答 対象者数は12226人で、うち小学生は583人となっており、予算総額は約150

0万で、うち小学生分が91万8千円となっている。なお、中学生まで助成を拡大した場合の対象者数約15500人での試算額は約3500万円としているが、高校生までの拡大分については、現在、試算はしていない。

20号 美唄市へき地保育所条例の一部改正の件

問 保育士が不足した場合、へき地保育所と認可保育所間で保育士の行き来はできないのか。また、へき地保育所と認可保育所では、条例改正等も別々に行っているが、1つに集約するなど、今後の在り方を含めてどう考えているのか。



進徳保育園

答 へき地保育所の保育士は、特別保育事業協議会の職員として採用しており、市の職員ではないため、相互の行き来は制度上できないことになっている。また、へき地保育所の在り方については、運営委員会や特別保育事業協議会から忌憚のない意見を伺いながら、協議を重ねていきたい。

21号 美唄市手数料徴収条例の一部改正の件

問 所有者や境界が不明な森林は、市内にどのくらいあるのか。また、台帳の閲覧や交付にかかる手数料は、なるべく低く設定するか、無料の方が効果的だと思いが、どういった趣旨から徴収するのか。

答 民有林6493ヘクタール中、未整備の森林は約187ヘクタールあり、全体の2・9%になっている。また、閲覧や交付にかかる手数料については、人件費や紙などの消耗品費における財源確保のため、徴収することとしている。

22号 市道路線の認定及び廃止の件

問 市道が廃止され、新たに農地となる部分の土地利用に

市 議 会 だ よ り

については、どのような扱いになるのか。

答 隣接している土地を農地として利用している方が、区画として利用できるよう整備していくものと考えている。

19/22号 原案可決

〔予算等審査特別委員会〕

委員長 土井 敏興（公正クラブ）

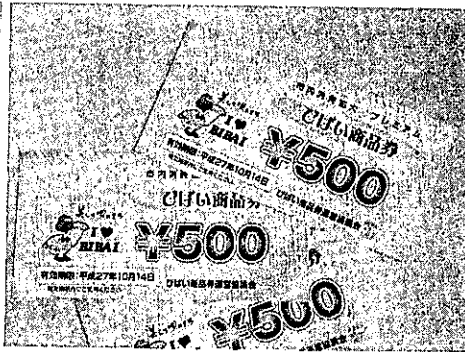
副委員長 楠 徹也（みずほ議員会）

3号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(11号)

問 「美唄市プレミアム付商品券事業」について、対象者への周知・販売方法、使用店舗の拡大についてはどのように考えているのか。また、非課税対象者抽出のため、システムを開発するところがあるが、以前使用していたシステムをそのまま活用することはできないのか。

答 6月以降、非課税対象者に販売申請書を送付し、それを返送してもらうことで購入希望者を確認することとしており、販売方法については、商工会議所へ委託する予定である。また、7月中旬をめど

に全市に公募をかけ、新たな店舗も含め、商工会議所と相談しながら、商品券の使用可能な店舗を特定していきたい。なお、システムについては、総合住民情報システムが更新されているため、改めてシステム開発が必要になるほか、非課税の購入希望者へ引換券を送付するという作業が加わっていることから、予算計上となった。

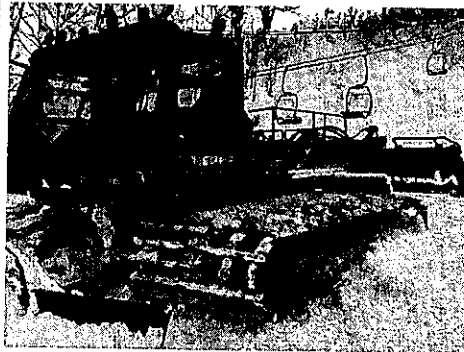


プレミアム付商品券

問 「美唄国設スキー場整備事業」について、圧雪車の故障により、シーズン券を利用できなかった方への対応はどのように行われたのか。

答 指定管理者であるアンビックスが、シーズン券購入者1

61名に対して、何らかの補償を行うと聞いているが、まだ内容が確定していないことから、早急に対応するよう促していきたい。



圧雪車

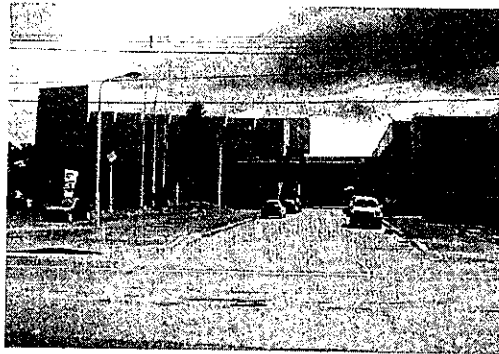
5号 平成30年度市立美唄病院事業会計補正予算(2号)

問 「継続費補正」について、解体工事着手が平成31年度になることによって、解体費に変動はあるのか。

答 5月中旬に着手し、消費税増税前の9月末までに終了する予定であるため、解体費は当初どおり2500万円と考えている。

6号 消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備等に関する条例制定の件

問 今回の条例改正においてスキー場リフト使用料の団体券と市民会館会議室Dの使用料金が引き下げになっているが、その理由について。また、使用料・手数料については、市内料金・市外料金など、全体的な見直しが必要と思うが、今後の考え方について。



市民会館・公民館

答 スキー場リフト使用料の団体料金については、一般料金に対して、一律80%で計算していることから、結果として減額となり、また、市民会館の会議室Dについては、もとと結婚式の式場として算出されており、同じ大きさの会議室Cよりも割高の料金と

なっていたが、現在、結婚式場としての利用実績がないことから、実情にあわせ会議室Cと同額に改正した。なお、使用料・手数料の見直しについては、概ね3年ごとに協議をしており、今後とも、受益者負担の原則を基に検討していきたい。

7号 平成31年度美唄市一般会計予算

議会費・総務費

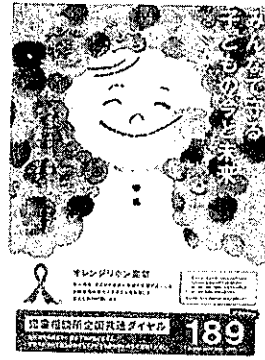
問 「広報事務」について、地デジ広報の導入時期と実施期間及び周知方法について。

答 導入は本年4月を予定しており、期間に関しては、可能な限り継続していきたいと考えているが、市民アンケート等で利用状況を確認し、2〜3年後をめどに継続の有無を判断していきたい。また、周知方法については、広報メロディー4月号や市ホームページ、フェイスブックに掲載するほか、自治組織代表者会議やまちづくり地区懇談会など、あらゆる機会を通じてお知らせしていきたい。

民生費・衛生費

問 「児童や高齢者などの唐

待」について、保健福祉部の各担当課で把握している2か年における虐待の件数と対応について。

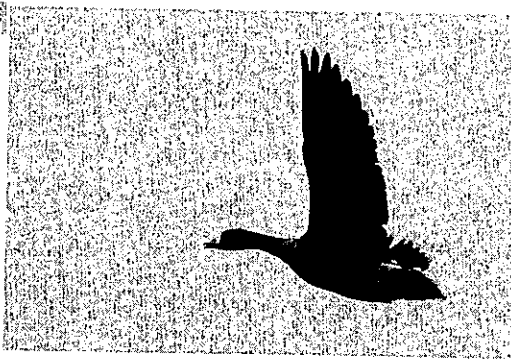


児童虐待防止ポスター

答 児童虐待については、平成29年度が27件、平成30年度が54件。高齢者虐待については、平成29年度が家庭内で2件、施設等で1件、平成30年度が家庭内で1件。障がい者の虐待については、平成29年度に施設で1件。乳幼児の虐待については、把握しているものはない。また、対応については、施設における職員等の研修や処遇、精神的なフォローを行うとともに、特に子どもに関しては、必ず情報を共有し、市をはじめ、警察や学校、保健センター、児童相談所などの連携により、子どもの人権を守っていききたいと考えている。

問 「宮島沼水鳥・湿地セン

ター管理運営事業」について、環境省所管の登別や阿寒の施設では、お土産品などが販売されているが、本市の観光交流の拠点でもある宮島沼湿地センターにおいても、観光客や交流人口を増やすために、今後、物販等を行いPRしていく考えはないのか。



宮島沼に飛来するマガン

答 現在、施設では自動販売機を設置しているほか、米やマガンの図柄を入れたTシャツ、葉書などを販売しているが、たくさんの人に来ていただくための取り組みの一つとして、商品開発を含め、観光振興課や環境省などと協議をしながら進めていきたい。

労働費・農林費

問 「地元就職等応援事業」について、これまでの成果と今後の事業内容及び展望について。

答 地元企業の冊子を作成し中高生に配布したことで、生徒の地元への就職に対する意識が高まり、美唄在住の高校生11名が市内での就職を希望していることから、大きな反響があったものと考えている。今後も紹介企業の冊子作成はもとより、地元企業の見学会や説明会を開催するほか、求人情報や各種補助制度等の情報を集約したポータルサイトを新たに構築するなど、地元若者に美唄に残ってもらうような魅力ある取り組みを進めていきたい。



地元就職等応援事業冊子

問 「畑作生産振興事業」について、以前、ハスカップの苗木の補助を行っていたが、

振興策についてはどのように考えているのか。



ハスカップ

答 苗木の補助は平成26年度から30年度まで行っていたが、ほ場整備の影響や、手作業により短期間に大量の収穫をしなればならないことから手間がかかることで、付面積が増えない状況であり、人材確保のため、過去に短期間での求人募集をかけた経過もあるが、なかなか人が集まらなかった。今後は、小さな面積で数多くの農家に栽培してもらいなど、どのように事業を進めていけばよいのか検討し、人手不足の解消などについては、農協と相談しながら考えていきたい。

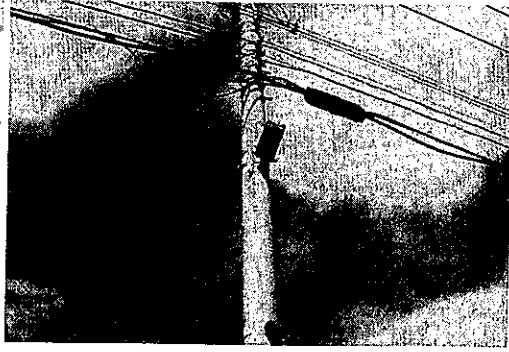
商工費・土木費

問 「中心市街地元気創出事業」について、新年度予算が1300万円と、30年度予算と比べ大幅に増額しているが、その要因について。また、過去に採用された地域おこし協力隊員が美唄市に残っていないことについて、どのように考えているのか。

答 地方創生推進交付金の計画期間が終了したことから、新たな中心市街地の賑わいづくりの創出や商店街の活性化を図るため、地域おこし協力隊員を新たに2名採用し、3名体制としたため増額となった。また、今回活動を終了した1名が美唄に残っていたため、今後協力隊員の方に美唄に残っていただけるよう、商店街組織や関係機関とのネットワークづくりに努め、創業など定住につながるような方策を模索していきたい。

問 「街路灯補助事業」について、街路灯のLED化について、美唄市内のLED化率と電気料金の削減額はどの程度になっているのか。またL

ED化の補助については、平成31年度で終了すると聞いているが、平成32年度以降について補助は考えていないのか。



LED街路灯

答 平成30年度までに80・8%の街路灯がLED化されており、平成31年度では、新たに250灯がLED化される予定であることから、これにより市内の約89%の街路灯がLED化される見込みであり、電気料金については、約360万3千円の節減が図れたものと考えている。また、平成32年度以降の補助については今後、検討していく。

問 「消防費・教育費」について、消

防団あり方検討委員会でのような議論がされ、どのような結論になったのか。



消防訓練

答 新たに出場用途を特定した機能別団員50名の創設や、団員確保に向けた要件の見直し、処遇の改善、年報酬・出勤報酬の支給額の改定などについて検討結果をまとめたほか、消防施設の分団再編と統合に伴い、9分団を4分団に再編するため、4月から委員会を設立し、施設の場所や面積を検討していく予定となっている。

問 「学校給食センター管理運営事業」について、本市の学校給食における食物アレルギー

ギーの現況及び対応策について。



給食センター

答 平成30年度では、小学生では732人中58人で約8%、中学生が420人中52人で約12%となっており、アレルギーの主なものとしては、乳製品、卵、小麦、果物などとなっている。対応策については、現在の施設設備では対応が難しいことから、献立表にアレルギー成分を記載し、食べられない献立がある場合、これに代わるものを家庭から持参してもらうことにより対応している。なお、現在は、そば、キウイ、バナナ、長いも、いくら、ピーナッツの6品目に

については提供していないが、4月からはマヨネーズやラーメンの麺などについては、卵を使わないものに変更する。

職員費

問 嘱託及び臨時職員の平成31年度予算は、前年度に比べて減額となっているが、その要因は何か。また、本年度で退職する職員と、新規採用者の人数はどうなっているのか。全体として充足できたのか。

答 嘱託職員では前年度より4名の減、臨時職員では2・1名の減として予算計上しているため、減額となっている。また、今年度末の退職者の人数は22名、再任用の退職者は3名の25名となっている。なお、新規採用については、一般事務職8名、保育士3名、消防1名で合計12名を採用し、再任用の職員として11名を採用したことにより、23名となり、当初予定していた人数を確保した。

諸支出金

問 桂沢水道企業団支出金が、前年度に比べて大幅に増えているが、その理由について。

答 平成31年度の事業費につ

いては、土木建築工事費及びプラントの機械電気設備工事一式を行うことから、事業費の増加となっている。

災害復旧費・公債費・予備費
質疑なし

歳入全般から一時借入金

問 軽自動車税が前年と比べて283万9千円増額になっているが、その理由について。

答 本市における軽自動車の登録台数は減少傾向にあるものの、平成27年4月以降に登録した車両に適用される新税率適用分として約100万円、平成31年10月から創設される「環境性能割」分として約180万円の増額を見込んでいる。

8号 平成31年度美唄市民バス会計予算

問 「市民バス東線運行事業」について、東線の路線をどのように変更したのか。また、実証運行の際に実施したアンケート結果を踏まえた変更点について。

答 新路線には、今まで通っていなかった総合体育館、総合福祉センター、図書館を新たに組み込むこととした。ま

た、アンケートでは、新路線に關して賛成意見が多かったものの、「乗車時間が長い」、市役所や市立美唄病院、コアびばいについて、「同じ箇所を何度もまわる必要はない」との意見があったことから、4月からはアンケート結果を踏まえ、当該箇所は1度しか通らない形で運行することとしている。



市民バス

9号 平成31年度美唄市国民健康保険会計予算

問 過去3年間に於ける国民健康保険の加入世帯と被保険者の推移について。また、前年度と比較し、国民健康保険税の歳入は増額となっているが、それに伴い、市民負担も

増額となるのか。

答 平成29年度については、3749世帯、5887人、平成30年度の見込みは3590世帯、5535人、平成31年度は3378世帯、5280人を見込んでいます。また、保険税については、税率変更を予定していないため、市民負担が増えることはない。

10号 平成31年度美唄市下水道会計予算

問 「個別排水処理施設整備費」について、南美唄地区については、下水道が整備されていないが、個別排水処理施設での対応は可能なのか。

答 下水道計画区域として認定しているが、個人負担により、浄化槽を設置することは可能である。

14号 平成31年度市立美唄病院事業会計予算

問 市立美唄病院における在宅医療の運営状況と、一般外来診療と比較した診療報酬について。

答 訪問診療については月約40件から50件、訪問看護については約60件から70件実施しており、一昨年より4割以上

増えている。また、診療報酬については、一般外来診療に比べ点数は高くなり、評価されている。



市立美唄病院

15号 平成31年度美唄市水道事業会計予算

問 平成30年度及び31年度の有収率の見込みと、水道管の耐震化について。

答 有収率については、平成30年度が78%、31年度が80%と見込んでおり、人口規模における道内平均の82・2%に近づけるよう取り組んでいる。また、水道管の耐震化については、震度6強相当に耐えられる構造となっており、平成29年度末現在で、全国・全道の平均を上回る48%の耐震化

率となっており、今後も積極的に取り組んでいきたい。



耐震水道管

16号 平成31年度美唄市工業用水道事業会計予算

問 工業用水事業は営業収益として低く、経営状況としては厳しいと思うが、今後、水道事業と工業用水事業の統合の考え方はあるのか。

答 工業用水道事業は現在、13事業所が利用しているが、今後、配水管の老朽化に伴う多額の更新費用が必要となるため、一般会計からの繰入金が増加する見込みとなっている。こうしたことから、経営負担の軽減を図るため、水道事業と工業用水事業の統合に向けて、関係部局と現在協議

を進めている。

24・4・11・13号 質疑なし
6・7号 反対があったため起立採決、原案可決
3・24・4・5・8・16号 原案可決

第1回臨時会での審査議案
第1号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(8号)(表1)

第2回臨時会での審査議案
第2号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(9号)(表1)

第1回定例会での審査議案
(簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。)

報告第1・4号 例月出納検査結果報告

報告第5号 定期監査報告

報告第6号 行政監査報告

報告第7号 美唄市地域医療体制等調査特別委員会委員長報告

※委員長報告については紙面の都合上別紙にて掲載させていただきます。

表 1 補正予算		(千円)
1号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第8号)		
補正総額		11,772(千円)
歳入	道支出金	6,372
	その他	5,400
歳出	総務費	3,275
	基金積立金	
	衛生費	8,497
	定期予防接種事業	
2号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第9号)		
補正総額		51,550(千円)
歳入	道支出金	39,942
	一般財源	8,753
	その他	2,855
歳出	農林費	48,695
	経営体育成交付金事業	
	商工費	2,855
	空知団地管理事業	

表 2 補正予算		(千円)
承認1号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第10号)		
補正総額		124,000(千円)
歳入	一般財源	124,000
歳出	土木費	124,000
	除排雪事業	

承認第1号 専決処分の承認を求める件(平成30年度美唄市一般会計補正予算(10号)(表2))
第17号 総務・文教委員会
第19号 産業・厚生委員会
第22号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(11号)(表3)
第3号 平成30年度美唄市保健事業会計補正予算(2号)(表4)
第4号 平成30年度美唄市介護保険会計補正予算(2号)(表4)
第5号 平成30年度美唄市病院事業会計補正予算(2号)(表4)
第6号 平成30年度美唄市審査特別委員会
第10号 平成30年度美唄市国民健康保険会計補正予算(3号)(表4)
第11号 平成31年度美唄市介護保険会計予算
第12号 平成31年度美唄市介護サービス事業会計予算
第13号 平成31年度美唄市後期高齢者医療会計予算
第25号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(12号)(表

お知らせ

本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。令和元年第2回定例会の日程は、改選後初議会となるため、現在調整中です。決定次第、ホームページ等にてお知らせいたします。詳しくは議会事務局(電話63-0141)にお問い合わせ下さい。

4)
第23号 財政調整基金の一部積立停止の件
意見書第1号 就労継続支援B型事業所などの報酬引き上げを求める意見書
※第23・25号は26日の本会議にて審議され、質疑なし原案可決
市議会の動き
1月
 25日 議会運営委員会
 29日 第1回臨時会
 予算審査特別委員会

市 議 会 だ よ り

12日	10日	8日	4日	28日	26日	別委員会	22日	13日	12日	11日	8日	4日	3日	28日	20日	15日	2日
広報委員会	広報委員会	広報委員会		広報委員会	議会運営委員会 第1回定例会閉会	広報委員会	地域医療体制等調査特 別委員会	15・18・20日 査特別委員会 予算等審	常任委員会	一般質問	議会運営委員会	第1回定例会開会		議会運営委員会	予算審査特別委員会 第2回臨時会	議会運営委員会	

表3 補正予算

(千円)

【3号】 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第11号)

補正総額 100,797(千円)

歳入	一般財源	7,483
	国庫支出金	11,535
	道支出金	25,300
	繰越金	79
	地方債	56,400
歳出	民生費 施設利用支援事業	17,880
	農林費 担い手確保・経営強化支援事業	6,860
	農業競争力基盤強化特別対策事業	27,940
	商工費 美唄市プレミアム付商品券事業	2,595
	美唄国設スキー場整備事業	42,509
	諸支出金 介護保険会計支出金	3,013

【繰越明許費補正】 追加

事項	金額
農業競争力基盤強化特別対策事業	37,280
美唄市プレミアム付商品券事業	2,595
美唄国設スキー場整備事業	42,509

(追加理由)

本歳入歳出予算及び当初歳入歳出予算に計上している「農業競争力基盤強化特別対策事業」、本歳入歳出予算に計上している「美唄市プレミアム付商品券事業」、「美唄国設スキー場整備事業」について、平成30年度中に事業が完了できないため、繰越明許費を設定するもの。

【債務負担行為補正】 追加

国営北海土地改良事業負担金(平成22年度着手1期分)

期間 H32 限度額 地元負担割合事業費のうち市負担分(田3%)

国営北海土地改良事業負担金(平成25年度着手2期分)

期間 H38 限度額 地元負担割合事業費のうち市負担分(田3%)

(追加理由)

国営かんがい排水事業、北海地区(1期・2期)の事業工期延伸に伴い、新たに債務負担行為を設定するもの。

【地方債補正】 変更

	補正前	補正後
農業基盤整備債	15,300	29,200
交流施設整備債	32,900	75,400

(変更理由)

本歳入歳出予算に計上している「農業競争力基盤強化特別対策事業」及び「美唄国設スキー場整備事業」について、事業の実施に伴う財源として「農業基盤整備債」13,900千円、「交流施設整備債」42,500千円をそれぞれ増額発行するため、地方債の限度額を変更するもの。

表 4 補正予算

(千円)

4号 平成30年度美唄市介護保険会計補正予算(第2号)

補正総額 24,100(千円)

歳入	国庫支出金		6,174
	道支出金		3,808
	その他		11,105
	一般財源		3,013
歳出	保険給付費	要介護者施設サービス給付事業	15,900
		要介護者等居宅サービス計画給付事業	8,200

5号 平成30年度市立美唄病院事業会計補正予算(第2号)

【継続費補正】

建築改良費

事業名	年度	財源内訳	補正前	補正後
改築事業 (MR I 棟解体)	H30	企業債	6,200	0
		損益勘定留保資金	50	0
	H31	企業債	18,700	0
		損益勘定留保資金	50	0

〈廃止理由〉

平成30年度当初予算において、平成30・31年度の2ヵ年の継続費としての議決を得ていた病院建替えに係るMR I 棟解体工事について、解体工事着手が平成31年度となることから、継続費を廃止するもの。

24号 平成30年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第3号)

補正総額 61,360(千円)

歳入	道支出金		61,360
歳出	保険給付費	一般被保険者療養給付事業	44,000
		一般被保険者療養事業	100
		一般被保険者高額療養事業	16,000
		出産育児一時金	1,260

25号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第12号)

【繰越明許費補正】 追加

金額

畑作生産振興事業	472,100
----------	---------

〈追加理由〉

平成30年度一般会計補正予算(第1号)に計上している「畑作生産振興事業」について、本年度中に事業が完了できないため、繰越明許費を設定するもの。

編集後記

平成31年第1回定例会は、私達議員の任期最後の定例会となり、主に新年度予算を審議し終了致しました。

また「平成」最後の定例会となり、「令和」元年が5月1日より始まります。

これは新しい時代の幕開けとなりますが、世界は急激にAIやIT、IoTなど高度情報化社会に進みます。本市においても様々な問題はありますが、将来を見越し高度情報化社会に対応できる取組が必要な時代だと考えます。

この47号は私たち広報委員最後の「議会だより」となります。お読み下さった皆様ありがとうございます。

次期も「議会だより」をお読み下さいますよう宜しくお願い致します。

(た)

広報委員会

委員長 谷村知重
副委員長 松山教宗
委員 楠 徹也
委員 吉岡建二郎

美唄市地域医療体制等調査特別委員会の報告

委員会での主な質疑・応答と議論についての内容です。

《平成29年9月21日》

「市立美唄病院・保健福祉
総合施設基本設計の経過」

問 現状、病児保育室が霊安室の隣に設置されているが、2階へ移動するなどの配慮はできないのか。

答 また、通常は霊安室の近くに検査室がある場合が多いが、今回は考えていないのか。

答 病児保育室については、スペース的に2階への移動は難しいが、今後検討していく。

また、検査室については、現在は検査依頼があつた場合、監察医が警察署に赴き検案を行つていたので、新病院では配置について考えていない。

《平成29年12月14日》

「市立美唄病院・保健福祉
総合施設基本設計概要書案」

問 立地適正化計画に関する交付金制度を活用した場合のメリットとデメリットについて。

また、平面図では2階と3階が逆Tの字型となつていますが、コストがかかりすぎるのではないのか。

答 立地適正化計画に関する交付金を活用することにより、財源を確保することができ、が、デメリットとしては、交付金の申請には、立地適正化計画の策定が前提となるため、建設に係るスケジュールが遅れる可能性がある。

また、2階と3階のT字型の形状については、四角に対してT字型とすることで、コスト的には割高となるが、2階と3階については病棟が中心となつていことから、病室をできるだけ南向きに配置するとともに、動線もシンプルになるよう計画したものである。

《平成30年1月31日》

「市立美唄病院・保健福祉
総合施設基本設計概要書案」

問 基本設計の業者選定の中

で、今回の指名業者が最適であると位置づけた根拠について。

また、この度の工事費の増加に伴つて、コストの縮減についてどのような協議がされたのか。

答 選定理由については、6社に対してプロポーザル審査を行い、病院及び保健福祉総合施設との動線、病院内部における動線、将来の医療環境の変化に対応するための考え方やコスト縮減などが提案されており、6社の中で1位となったことから選定したものである。

また、コストの縮減については、免震工法から耐震工法に、外壁の仕上げについては、外断熱工法からペンキによる塗装に、エレベーターの台数は3台から2台に、それぞれ変更したほか、今後も、病院の機能を損なわない範囲で、コストの縮減を図っていく。

《平成30年3月19日》

「市立美唄病院・保健福祉
総合施設基本設計の経過」

問 これから実施設計に入っていくにあたり、質を下げず

に、ランニングコストを抑えるにはどのような考えがあるのか。

答 基本的な考え方として、計画的な管理・保全、改修を行うことで、施設の長寿命化を図ることが大切であり、また、全体のコストを削減させることも必要だと考えていることから、実施設計においては、省エネタイプの設備機器を積極的に採用するよう検討していくものの、再生エネルギーの活用については、建設費の増加を招くことから採用を見送る予定となつてい

《平成30年3月22日》

「市長から実施設計延期についての発言」

問 実施設計の延期に至った要因と、今後の市民説明の手法についてはどのように考えているのか。

答 今回の一般質問並びにこれまでの議会での議論や本委員会での議論、さらには、市民説明会、各種経済界、各種団体等から出された意見などを総合的に判断し、熟考を重ねて判断した。

また、市民説明の方法につ

いては、仮称「市民検討委員会」を設置することとし、方法や回数等については検討していく。

《平成30年6月21日》

「市立美唄病院の建替え等に関する市民委員会 及び「旧看護宿舎棟の解体」について説明を受け、質疑を行うとともに、陳情第2号「市立美唄病院更新事業（建替え計画）に関する陳情」

問 3月に実施設計の入札を踏みとどまるという苦渋の決断をされたことは的確で評価できるが、市長は、市立病院の建替え並びに保健福祉総合施設の建替えについて、どのような考えを持っているのか。

答 病院の建替えを含めた地域医療のあり方については、市民の皆さんに参画いただき、議論していただくなど、長い歳月をかけて今日に至っている。

現計画の規模については、現在の患者数の状況や今後の推計から考えても過大な計画だとは思わないが、事業費が増加したことによって、財政の健全化が図れなくなること

は避けなければならないことから、これからも市民委員会で出された意見を参考にするとともに、関係機関等と十分協議をしながら、しっかりとした対策を講じていく。なお、陳情第2号については、「病院の建て替え事業については反対ではないものの、市民が抱いている不安や懸念を陳情者から伺うべき」との意見があったことから、参考人招致を行うこととし、継続審査とした。

《平成30年7月9日》

陳情第2号「市立美唄病院更新事業(建替)計画に関する陳情」

審査にあたって、陳情者である美唄市母町連絡協議会会長並びに副会長のお二人を参考人として招致し、陳情の内容等について意見を聴取した後、質疑を行った。

問 母町連絡協議会の中で、規模の縮小について議論をされたとのことであったが、どのような内容だったのか。

答 現在の市立美唄病院の現状では手術を行うことができないと考えることから、手術

室に過剰な設備投資をせず、必要最小限の設備で良いのではないかと、また、現在3階に機械室が予定されているが、耐震や防振の点からも再考の余地があるのではないかと、などといった議論がなされた。

※陳情第2号については、「願意妥当」として採択し、意見を付して市長に送付いたしました。

《平成30年9月19日》

「市立美唄病院の建替え等に関する市民説明会等」

問 立地適正化計画に基づく交付金申請のスケジュールはどのように考えているのか、また、実施設計の発注にこれ以上の遅れが生じた場合はどうなっていくのか。

答 現在の考えている作業スケジュールとしては、実施設計を遅くとも年明け早々に発注し、平成31年6月頃に北海道とのヒアリング、8月頃に新規地区の計画書提出し、12月頃に本要望を行い、平成32年4月に交付金の申請を行うこととしている。

また、実施設計の発注が遅れた場合は、31年度の交付金

申請は断念せざるを得なくなるとともに、全国の市町村が当該交付金の申請を考えていることから、交付金の交付率を上げるためにも1年でも早い交付金申請が望まれる。

《平成30年12月3日》

「市立美唄病院の建替え等に関する市民委員会の提言」

問 3月議会において実施設計に関して一旦立ち止まり、6月から市民委員会を立ち上げ、話し合いを重ねた結果、このような提言書が提出されたものと考えて、立ち止まった意義、市民からの意見をどのように活かして変えていくのか、それとも変えるつもりはないか。

答 基本設計から見直すことは、老朽化している市立美唄病院の維持管理や医師確保の面からも非常に厳しい状況となることから、基本設計を基本とし、提言書に付された多くの附帯意見の対応について、設計業者、あるいは関係者、市議会とも議論を重ねながら、実施設計の完成に反映できるように取り組んでいく。

《平成30年12月13日》

「市長から、中断していた実施設計を進めていくとの発言」

問 市民委員会の提言書の中に、附帯意見として、「実施設計において可能なところは削減し、基本設計との比較内容を公開すること」とあるが、これらについて、今後、市民あるいは議会にどのような形で示されていくのか。

答 今後、基本設計を基本とした実施設計を行っていく過程において、その状況について、必要に応じて説明する機会を設けていく予定である。

《平成31年3月22日》

「市立美唄病院の建替え等」

問 3月8日の一般質問の答弁において、見直しを含めて検討していくとの答弁があったが、市長として何をどのように見直していく考えなのか。

答 建設工事が想定した工事費を上回ることが明らかになった場合、あるいは建設コストが基準の単価を下回り、建設業務に負担がかかる設計内容となった場合には、北海道の地域医療構想調整会議協議会

を見据えつつ、これまで進めてきた様々な構想や計画の影響も考慮しながら、保健福祉総合施設の同一時期の建設見送りや、病院本体の基本設計までさかのぼることも否定することなく、総合的に判断したいと考えており、近々に決断をしたいと考えている。

「地域医療体制の確保と市立美唄病院のあり方等」

計18回に及ぶ委員会を開催し、それぞれ必要に応じた調査を行ってまいりましたが、本年6月13日で議員任期が満了となることから、調査を終了することに決定した。

本市にとって重要な案件であり、人口減少や、少子高齢化の進行など、様々な情勢が変化している中、本市唯一の救急機能を有する市立美唄病院は、市民の生命を守る上でも重要な基幹病院であることから、これまでの本委員会での協議経過や市民委員会からの提言、並びにその附帯意見を十分に踏まえ、今後においても、しっかりと市民及び議会と情報を共有しながら、取り組んでいただくよう要望する。